

地球温暖化対策と CO2 排出計算の関係

1 CO2 の抑制に関する論点

① エネルギー使用 CO2
(電気、ガス等の使用)
廃棄物のうち石油製品等の焼却
(プラスチック等)

② 廃棄物のうち有機物の焼却
(紙類や衣服(非石油製品))

焼却やエネルギーの使用により同じく CO2 が発生する。

【①から発生する CO2】

市域からの CO2 排出量に
→ 算定する

今回の政策案は主にこの部分について重点的に取り組むべき施策を議論している。

【②から発生する CO2】

市域からの CO2 排出量に
→ 算定しない

この分野についても整理したい。

バイオマス由来のもの

それ自体燃やせば実際に CO2 が出る
計算上は CO2 に算入されない

- ・ 一度焼却などで大気中に放出されると吸収までに時間がかかる
- ・ 森林が減るので吸収量が減る
- ・ 倫理的にもったいない

だから、燃やしてよい？
→ でも、燃やさない方がいい

バイオマス由来の製品であっても、その製造工程で製造部門の燃料の使用などによる化石由来の CO2 が発生する。

ただし
消費活動によって。この CO2 は削減できる
→ 消費者の行動を変えて行けば、製造部門の CO2 排出を減らせる

2 CO2 の吸収及び取引に関する論点

植樹
排出量取引
森林贈与税の活用

CO2 削減量の増加